



め た せ こ い あ

至 創 努 校
誠 造 力 訓

島根県立吉賀高等学校 〒699-5522 鹿足郡吉賀町七日市 937

電話 (0856) 78-0029 FAX (0856) 78-0742

HP アドレス <http://www.yoshika.ed.jp/>

『教育の魅力化』について 2

吉賀高等学校 校長 熊谷 修山

吉賀高校が県外生徒の募集を始めて、今年度が3年目となります。昨年6月の「しまね留学」合同説明会に始まってこの冬休みまでに、電話での問い合わせも含めて直接お問い合わせをいただいた件数は30件以上になります。そのうち、学校見学のために直接吉賀高校まで足を運んでいただいた生徒・保護者の皆さんが20組を超えました。もちろん、吉賀高校は県外生を8名以内としていますので、その全員が入学することはできませんが、昨年度の問い合わせ件数15件、学校見学10組と比べると倍増となっていて、着実に認知度が上がっているという手応えを感じています。

要因は様々あると思います。一つは豊かな自然です。学校見学に来られた皆さんは、一様に自然の豊かさに「ホッとすると」言われます。吉賀高校がキャリア教育や町内の諸行事で、町の方にいろいろ助けていただいていることをお話しすると、「地域と一体でいいですね。」と皆さん言われます。もちろん「サクラマス交流センター」も魅力に感じられるようです。そしてその中で、相談会等で生徒・保護者の皆さんと話していて最も強く感じるのは、「小さい学校」に対する期待感の強さです。吉賀高校はご存知のとおり「小さい学校で 大きな夢を！」をキャッチフレーズに生徒募集を行っていますが、「小さい学校」＝「和気あいあい」「一人一人の存在感がある」というあり方に対する期待感はとても強いと思います。事実、現在入学しているある県外生の保護者の方が、子どもが地元に戻ってきたときに、近所の方に「表情が穏やかになったね。」と言われたということを話してくださいました。これは「小さい学校」に対する期待に全く反しないものだと思います。そして、前号でも書きましたが、保育園から小学校・中学校で学校と地域が一体となって大切に育ててこられた吉賀町の子どもたちの、人懐っこくて穏やかな人柄も大きく影響していると思います。また、吉賀高校では、一人が何役もこなします。一人一人の存在が大きい意味を持つのも確かです。「小さい学校」には、「小さい学校」なりの良さがあって、そのような良さ・あり方を求めている人が確実にあるのだということです。仮に、いつの日か吉賀高校が入学生が増えて2クラスになる日が来たとしても、県内で最も小さい学校の一つであることには変わりありませんので、「小さい学校」の良さを失わないようにすることが大切だと思います。

しかし考えてみれば、「自然が豊か」で「地域と一体」で、「小さい学校」の良さがあることは、吉賀町の場合どの学校も小規模校になりますので、我々にとってはごくごく当たり前のことではないでしょうか。日常がそうですから、当たり前すぎてなかなか気づきにくいかもしれませんが、今の吉賀町内の全ての学校のあり方は、都市部の大規模校に通う生徒・保護者にとっては、遠隔地からであっても入学したいと思わせる、間違いなく魅力的なあり方なのです。この魅力的な教育のあり方を、町全体としてもっと積極的にPRしていくことが必要なのではないでしょうか。

そして、吉賀高校としましては、吉賀町の内外の期待に添えるよう、皆様のお力添えをいただいてしっかりと教育を進めて参りますので、よろしくお願いいたします。

追記、私が教頭で勤めていたときに卒業した生徒が、今年大学の4年生になります。聞くとみんな民間企業の内定を得たり、公務員に合格したということです。全国での競争の中で勝ち取った内定を大切に、社会人として活躍してくれることを願うばかりです。

六 日 市 小 学 校 と の 交 流 に つ い て

12月27日（火）吉賀町社会福祉協議会において、2年アントレプレナーシップ教育の「チームトマト」とソフトテニス部、地域クラブが六日市小学校の6年生と一緒にライスバーガーを試作・試食をしました。今回は11月のきん祭みん祭で販売したメンチカツのライスバーガーと新作の焼肉バーガーも試作しました。小学生と一緒に作ることで、作り方を知らない人たちでも簡単に作ることができるということが分かり、また作るうえで不便に思う点なども意見をいただいて、改善することができて良かったです。普段、小学生と交流することがあまりないので今回一緒に活動できてとても新鮮でした。また、このような機会をつくり、吉賀町を盛り上げていきたいと思っています。ありがとうございました。（2-1 中村蒼来）



セ ン タ ー 試 験 受 験

1月14日（土）、15日（日）に大学入試センター試験が行われました。本校からも受験者が山口大学へ向けて13日の午後出発し、会場下見をしてその近隣のホテルに宿泊するなど万全の体制で試験に臨みました。

当日は雪が積もりとても寒くなりましたが、受験生はしっかりと体調を整えて受験することができました。

現在はセンター試験の結果をもとに各自が出願校を決定し、個別試験に向けての勉強をスタートしている状況です。これから個別試験を受験する生徒は、学年末試験後も学校に通って添削指導などを受け受験の準備を続けます。彼らの進路実現まで学校全体を挙げてサポートしていきます。



<山口大学>

サクラマスファミリーを募集しています！

○今月の町広報の折込ちらしでもお知らせしているように、来年度、県外・町外生徒さんと交流をしていただくサクラマスファミリーを募集しています。生徒さんとの交流を通じて、あったかい気持ちになったり、ファミリーの方同士での交流の輪が広がったりする活動です。興味のある方は、吉賀高校か総務課吉賀高校支援室までご連絡ください。ご応募お待ちしております。

連絡先：吉賀高校 0856-78-0029（担当：教頭）
総務課吉賀高校支援室 0856-77-1111（担当：齋藤）

2年生 総合的な学習の時間「吉賀町魅力化・活性化プラン」発表会

平成28年12月20日（火）に吉賀高校視聴覚教室を会場として、2年生「吉賀町魅力化・活性化プラン発表会」を実施しました。今年度は8チームが、総合的な学習の時間において取り組んできたサクラマス・プロジェクトの一環である「アントレプレナーシップ教育」でプランを作成して、吉賀町で自分たちは何ができるのかという地域課題解決型学習の成果をプレゼン発表しました。保護者や取材先の企業、1ターン(農業)、吉賀町役場・教育委員会職員、本校教職員など多くの方々が参観される中での発表会でした。参観者からは、プランの内容が社会のニーズと一致しているという評価や是非提案プランを実現してほしいというコメントもいただきました。この発表会を終えて、生徒たち本人がそのプランにどう関わっていくのかという大切な視点を持ち、吉賀町の地域課題の発見からその解決へ向けてしっかりと取り組んで欲しいという期待感が伺えました。

発表チーム名と発表タイトルは以下の通りです。

ヨシカ	「待機児童受け入れ大作戦！」
めたせこいあ	「LET'S ENJOY YOSHIKA TOWN!」
桜セブン	「吉賀グリーンライフプロジェクト」
よりそい隊	「高齢化によってさらに発展する吉賀町」
よしかみらい	「よしかみらいの有効活用」
噂	「うわさのカレンダー」
トマト	「吉高特製ライスバーガー販売!!!」
未来プロジェクト	「アグリカルチャー in Yoshika」



参観者と生徒全員の投票の結果、「トマト」と「よりそい隊」の上位2チームが3月3日（金）に開催されるキャリア教育成果発表会に出場します。取り組んできた学習成果を地域の皆様に向けて、しっかりと発表・報告してくれることを期待しています。

＜ご案内＞皆様のご来場を心よりお待ちしております。

2月7日（火）1年生聞き書き発表会 10:00～12:30 本校視聴覚教室
3月3日（金）キャリア教育成果発表会 13:50～15:30 林業総合センター

1年生 保育実習

1月17日（火）に1年生「家庭基礎」の授業で保育実習を七光保育所にて行いました。当日は、園庭に前日からの雪が残る中、園児・高校生が入り乱れて雪遊びを楽しみました。普段はなかなか幼児と触れ合う機会の少ない生徒たちにとって、よい経験をさせて頂きました。七光保育所のみなさんお世話になりました。ありがとうございました。



部活動結果報告

男子バレーボール部

今大会は陸上競技部より黒田君に参加してもらい、何とか6名で出場することができました。男子は3チームの予選グループ戦で、2位以内でベスト12に進めるチャンスでした。初戦で隠岐高校と対戦して、双方に硬さが見られる序盤から、やや本校のサーブミスやカットミスが目立つようになり、終始リードを許したまま1セットを取られました。2セット目では、コンビが乱れている相手に対してリードする場面もあり、セットポイントまで取りましたが、得点チャンスを生かすことができずに接戦の末敗れました。2試合目の松江北高校戦では、相手エースの強打やセンターからのフェイントになかなか対応できず、ストレートでセットを取られました。

3年生のいない1・2年生だけの初の公式試合でしたが、ベスト8の壁は厚いものだと実感できた大会になりました。また、次の大会に向けて更なるチーム力向上を果たして頑張っていこうと思います。鹿島という遠方にも関わらずお越しいただいた保護者の皆様、地域の皆様、ご声援本当にありがとうございました。

【予選グループ戦】

吉賀高校	0	(18-25、28-30)	2	隠岐高校
吉賀高校	0	(16-25、16-25)	2	松江北高校

女子バレーボール部

県新人戦（1月13～15日 松江）

【予選グループ戦】

吉賀高校	2	(25-20、25-18)	0	石見智翠館高校
------	---	---------------	---	---------

【ベスト8決定戦】

吉賀高校	1	(25-22、15-25、18-25)	2	松江商業高校
------	---	---------------------	---	--------

松江市で行われた県新人戦では、予選グループ戦で石見智翠館高校と対戦しました。島根中央高校が棄権したため、この試合で勝った方が、ベスト8決定戦に進むという状況の中、思い切りの良いプレーを見せ、2-0で勝つことができました。ベスト8決定戦では、松江商業高校と対戦しました。1セット目、リードしながらゲームは進み、終盤追い上げられましたがセットを奪いました。2セット目、序盤は互いに点を奪い合いながら進みましたが、中盤を迎えるあたりでリードを許しそのままセットを失いました。3セット目、2セット目の悪い流れを断ち切ることができず、セットを失い1-2で敗退しました。

今大会は、自分たちの強さと弱さがはっきりと出る試合となりました。4月の中国大会予選に向けて、どこにも負けない強いチームを目指して、さらに練習を重ねていきたいと思います。当日は遠方にもかかわらず応援に来ていただき、ありがとうございました。

中高合同柔道

1月23・24日に、吉賀町内の4中学校の1年生を対象に合同柔道が行われました。朝から雪が降る、とても寒い中での開催となりました。23日には、吉賀高校の1年生が中学生に寝技を指導しました。最初はとまどう場面も見られましたが、一生懸命技を教える姿が見られました。相手に物事を教えることの難しさや楽しさを感じつつ、充実した時間を過ごすことができました。中学生の柔道に取り組む姿もすばらしく、お互いに高め合うことができた合同柔道になったと思います。1月26日には、吉賀高校の1年生を対象にした合同柔道が行われます。さらに成長した姿を見せてくれることを期待しています。